

充電式

リチウムイオンバッテリー6.6Ah 10A0004

チャージャー(16.8V 2A)
10C0006

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。
あなたの安全を守るため使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分内容を理解してからお使いください。
この説明書は必要なときすぐに読めるように保管してください。
本書の内容についてご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。

BMO JAPAN

安全上の注意(必ずお読みください。)

お使いになる人や他の人への危害及び財産の損害を未然に防止するため、取扱説明書に表示された内容は必ずお守りください。

必ずお守りください

- 専用充電器以外で充電しないでください。火災、破裂、破損の原因になります。
- 充電器を本製品以外に使用しないでください。火災、破損の原因になります。
- バッテリーを火の中に投入したり、電子レンジやオープン、電磁調理器等で加熱しないでください。
- バッテリーを火のそば、ストーブのそば、炎天下、高温になった車の中など60℃以上になるところで使用、充電、放置しないでください。
- バッテリーを金属製品と一緒に移動したり、保管したりしないでください。また、バッテリーの⊕と⊖を針金などの金属で短絡(ショート)しないでください。
- バッテリーの⊕と⊖を逆に接続して使用、充電をしないでください。
- バッテリーを水や海水につけたり、水中に投げたりしないでください。

取扱説明書のマークの意味は次のようになっています。

警告 この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表示しています。

注意 この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を表示しています。

警告

- ※ 改造、分解しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- ※ 落としたり、蹴ったり強い衝撃を与えないでください。故障、発熱の原因になります。
- ※ バッテリーに直接ハンダ付けしないでください。火災、破裂、故障の原因になります。
- ※ バッテリーからの発熱、液漏れ、膨張、異臭、その他今までと異なる場合は使用しないでください。
- ※ バッテリーから漏れた液が、皮膚や衣服に付着した場合は、直ぐにきれいな水で十分に洗浄してください。また、目に入った場合はこすらずに直ちにきれいな水で十分に洗浄した後、すぐに医師の治療を受けてください。
- ※ 充電しながらの使用はしないでください。
- ※ 使用用途以外に使用すると火災・感電・けがの原因になります。
- ※ 水中に落水させる等で内部浸水したものは使用しないでください。充電すると発火、破裂することがあります。

注意

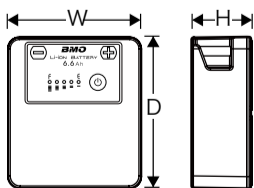
- ※ 充電器コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せないでください。火災、感電の原因になります。
- ※ 充電器コードやクリップが傷んだり破損しているときは使用しないでください。故障や事故の原因になります。
- ※ 外傷、変形の著しいバッテリーは使用しないでください。
- ※ ご使用前に、お使いの電動リールがリチウムイオンバッテリーに対応していることを各電動リールメーカーにご確認ください。
- ※ 年式の古い電動リールはリチウムイオンバッテリーに対応していない場合があります。

製品仕様(定格、寸法)

バッテリー本体(10A0004)

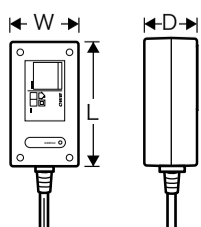
※操作パネルには保護フィルムが貼ってあります。使用時には剥がしてください。

定 格	DC14.4V 6.6Ah
外形寸法	W113xD128xH51 (mm)
重 量	750g
使用温度範囲	充電:10~45℃ 放電:-10~60℃
電池保護	過負荷保護、温度保護
防水レベル	IP55



チャージャー(10C0006)

入力定格	AC100V-240V 50/60Hz
出力定格	DC16.8V 2A
外形寸法	W67xL127xD38mm
重 量	400g
コード長	180cm
使用温度範囲	-10~40℃



使用方法

注意

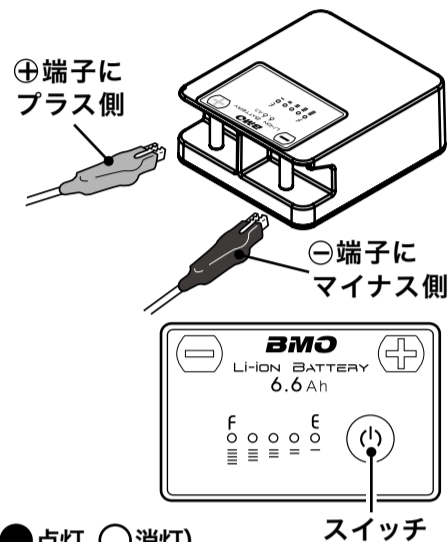
- ※ 全ての電子機器、電動リールなどの正常動作を保証するものではありません。
- ※ このバッテリーをご使用になる前に、ご使用になれる機器の使用可能電圧など、ご確認の上ご使用ください。万が一、ご使用機器に不具合が生じても保証は致しかねます。
- ※ **バッテリーは新品の場合でも、必ず充電してからご使用ください。**
- ※ バッテリーは-10℃~60℃の温度範囲でご使用ください。
- ※ 使用前に取扱説明書、注意書きをよくお読みください。
- ※ **このバッテリーはオートパワーオフ機能が付いています。**
25mA以上の電流が約30分間ながれない場合は、電源がOFFになります。使用する場合は再度、電源をいれてください。
- ※ **バッテリーに使用機器を接続していても消費電流が25mA以下の場合、約30分間で電源がOFFになります。故障ではありません。**
- ※ **大電流を流すと電極が熱くなります。触ると火傷の恐れがあります。**
- ※ バッテリーを並列、及び直列に接続して使用しないでください。必ずバッテリーは単体でご使用ください。並列、及び直列に接続して使用すると、故障や事故の原因になります。

1 バッテリーの⊕端子に使用する機器のプラス側を、⊖端子にマイナス側を接続してください。

2 スイッチを押してバッテリーをONにしてください。LEDが点灯します。

3 スイッチを約3秒間押しするとスイッチがOFFになります。使用後は必ずスイッチをOFFにしてください。

*低温時には使用時間が短くなります。



動作ランプの表示とバッテリー残量(●点滅 ●点灯 ○消灯)

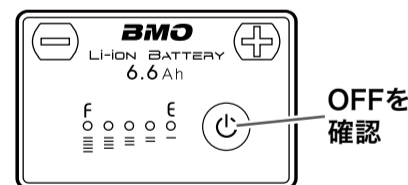
残量状況	バッテリーLED表示	バッテリー残量
満 ↓ 空	F ● ● ● ● ● E	100~80%
	F ○ ● ● ● ● E	80~60%
	F ○ ○ ● ● ● E	60~40%
	F ○ ○ ○ ● ● E	40~20%
	F ○ ○ ○ ○ ● E	20%以下
	F ○ ○ ○ ○ ● E 点滅	10%以下 要充電
	F ○ ○ ○ ○ ○ E 全消灯	0% 要充電

充電方法

注意

- ※ バッテリーの充電は10℃~40℃の温度範囲内で行ってください。
- ※ 所定の充電時間(約3~4時間)を超えても充電が完了しない場合は充電を止めてください。
- ※ 充電器は室内用です。屋外で使用しないでください。
- ※ コードを束ねたまま使用しないでください。
- ※ 満充電の状態でも充電を続けしないでください。充電が完了したら速やかに充電クリップを外し、充電コードをコンセントから抜いてください。
- ※ 充電が完了したバッテリーはLEDが全点灯します。充電器と接続したままにすると一定の間隔でLEDが点滅します。
- ※ 燃えやすい物の近くでは充電しないでください。
- ※ 充電中は決して放置せず、目を離さないようにしてください。

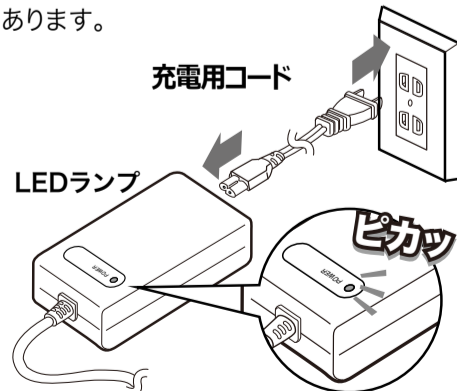
1 スイッチがOFFになっていることを確認してください。ONの場合はスイッチを約3秒間押し続けてOFFにしてください。



2 バッテリーの⊕端子に充電器の赤クリップ、⊖端子に黒クリップを接続してください。

※通電状態(充電コードをコンセントに差し込んだ状態)で充電器のプラスとマイナスのクリップを接触させると火花を発する場合があります。

3 充電器のプラグをコンセントに差し込んでください。充電器のLEDランプは通電を確認するための表示ランプです。プラグをコンセントに差し込むとLEDランプが赤に点灯します。バッテリーが満充電になってもLEDランプは赤のままなので、充電状態はバッテリー側のLED表示にて確認してください。



※バッテリー端子と充電器クリップの接続でプラスとマイナスを逆接した場合、正常に充電できません。充電器のクリップを正常に接続しなおしてください。また、バッテリーの電源が入った状態で逆接すると火花を発する場合があります。

4 充電器をコンセントから抜き、クリップをバッテリー端子から外してください。

裏面へつづく

充電方法

表面からのつづき

動作ランプの表示と充電量 (● 点滅 ● 点灯 ○ 消灯)

バッテリー残量	バッテリーLED表示	充電器のランプ
空 ↓ 満	F ○ ○ ○ ○ ● E	○ 赤
	F ○ ○ ○ ● ● E	○ 赤
	F ○ ○ ● ● ● E	○ 赤
	F ○ ● ● ● ● E	○ 赤
	F ● ● ● ● ● E	○ 赤
	F ● ● ● ● ● E 全点灯	○ 赤

バッテリーの保護機能について

バッテリーの能力を超えた場合、保護機能が働きます。保護機能が働かない範囲でのご使用をお勧めいたします。

*下記保護機能が働いた場合、LEDランプが5個全て点滅します。

*LED点滅は約30分で停止します。

■ 過負荷保護

使用機器に大きな負荷が掛かり、バッテリーの許容電流を超えた場合に出力を停止します。このような状態になった場合には、接続している機器の電源を切り、バッテリーから外してください。その後、バッテリーの電源を切ってください。何も接続されていない状態でバッテリーの電源を入れなおしてください。

■ 短絡(ショート)保護

使用状態で短絡(ショート)した場合に出力を停止します。バッテリーの電源を切り、接続しているケーブルを外してください。

■ 温度保護

連続で大きな負荷がかかった場合や使用状態によって、バッテリー本体内部の温度が高くなると出力を停止します。

このような状態になった場合には、接続している機器の電源を切り、バッテリーから外してください。その後、バッテリーの電源を切って温度が下がるのを待ってください。

防水レベルについて

本製品の防水仕様はIP55です。

●IP55とは・・・機器の正常動作や安全性を阻害するほどの粉塵が内部に侵入しない。また、あらゆる方向からの噴流水によっても、有害な影響を受けない。

お手入れについて

■ 使用後は必ずスイッチをOFFにして保管してください。

■ 電池本体のお手入れについて

バッテリー本体の汚れは水圧をかけるに水道水などで洗い流し、布などで拭いて水分や塩分を取り除いてください。特に電極に塩分が残っていると腐食してしまいます。本体は防水構造ですが完全防水ではありません。水や海水につけて洗うことはしないでください。

ベンジン、シンナー等の有機溶剤や洗剤は使用しないでください。ケース劣化や破損の恐れがあります。

バッテリーの寿命について

リチウムイオンバッテリーは充放電を繰り返すたびに使用出来る容量が低下していきます。バッテリーの使用状況、保管環境により大きく変わりますが、約300回程度の充放電が可能です。

使用時間が新品時の半分程度まで短くなったときは、電池の寿命ですので新しい電池を購入してください。

*寿命を延ばすためには「過放電状態にしない」「満充電状態の時間を短くする」「高温にしない」ことが効果的です。

■ リチウムイオンバッテリーの廃棄について

リチウムイオンバッテリーを廃棄する場合は⊕と⊖の端子にテープなどを貼り絶縁して自治体の指定する方法で処理するか、充電式電池リサイクル協力店などにおいてあるリサイクルボックスに入れてください。

その他のゴミと一緒に捨てないでください。火災、破裂の恐れがあります。

保管上の注意

リチウムイオンバッテリーは満充電の状態または、使い切った状態での長期保管では極端に劣化します。バッテリーのLEDランプが2~4個点灯する状態で保管し、使用前日に満充電にすることをおすすめします。

満充電での保管はバッテリーの寿命を縮めます。

数ヶ月以上にわたる長期間の保管の場合、1~2ヶ月をめぐりにバッテリー本体のLEDランプの表示を確認し、必要に応じて充電をしてください。

放電した状態で長期間経過すると電池の放電が進み、使用出来なくなります。

湿度の少ない風通しの良い冷暗所に保管してください。

急激な温度変化を与えないでください。結露により内部に錆が発生する可能性があります。

燃えやすい物の近くで保管をしないでください。

航空機搭乗時のお取扱いについて

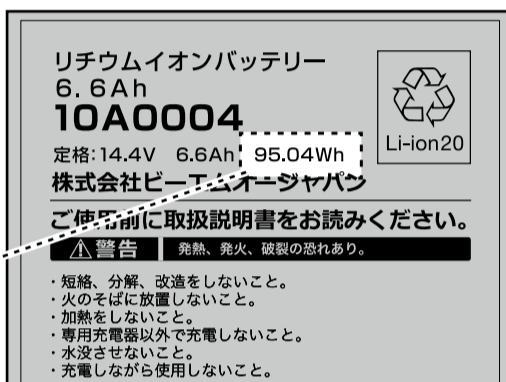
リチウムイオンバッテリー(電池)は航空機搭乗時の機内持ち込み、またはお預け荷物としての取扱には制限(条件)があります。

制限については航空会社の規定により異なりますが、一般的にリチウムイオンバッテリー(電池)はワット時定格量が160Wh以下であれば、機内への持ち込みが可能です。

※お預け荷物扱いはできません。

※上記は国内線の航空機機内への持ち込みに限ります。

※機内に持ち込める手荷物の条件や制限については航空会社により異なりますので、詳細は搭乗前に必ず各航空会社へご確認ください。

ワット時定格量の記載場所	
本製品の「ワット時定格量」については製品本体の裏側のコーションシール内に記載されております。	
ワット時定格量	

故障かな?と思ったら

下記項目をチェックし、異常がある場合はお買い上げ店、または弊社へご連絡ください。

症状	
スイッチをONにしてもLEDが点灯しない	バッテリー残量が0%の場合は充電をしてください。
接続機器が動作しない	バッテリー本体のスイッチをONにしてください。 端子の接続部分が汚れていないか確認してください。
接続機器の使用出来る時間が短い	正常に充電したものでも使用時間が著しく短い場合は電池の寿命ですので交換してください。 接続機器の消費電流が25mA以下の場合、オートパワーオフ機能により約30分間で電源がOFFになります消費電流が25mA以上であるか確認してください。
バッテリー、充電器が熱くなる	充電中や長時間の使用時には熱くなる場合がありますが、これは故障ではありません。 素手で触れないほど熱くなった場合は異常が考えられるため、速やかに使用を止め、電源をOFFにして、お買い上げ店に検査、修理の依頼をしてください。
充電が出来ない	端子の接続部分が汚れていないか確認してください。 バッテリーまたは充電器の異常、断線が考えられる場合は速やかに使用を止め、電源をOFFにして、お買い上げ店に検査、修理の依頼をしてください。 充電器が正常に接続されているか(逆接していないか)確認してください。
LEDが本書に記載のない表示をする	バッテリーまたは充電器の異常の可能性があります。速やかに使用を止め、電源をOFFにして、安全な戸外に保管した後、弊社に検査の依頼をしてください。
電源が切れない	バッテリー充電中は自動的にLED表示がONになります。故障ではありません。 バッテリー充電中以外の場合は、バッテリー異常の可能性があります。速やかに使用を止め、安全な戸外に保管した後、弊社に検査の依頼をしてください。

その他、お気づきの点やご不明なことがございましたら、弊社または、お買い上げ店にご連絡ください。

株式会社ビーエムオージャパン マリン事業部

〒468-0004 愛知県名古屋市天白区梅が丘1-1120

☎ 052-848-7911

FAX 052-804-5858

✉ marine@bmojapan.com

URL http://www.bmojapan.jp